

# 施策評価シート（平成26年度実績評価）

## ◎ 施策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	2-2	政策名	生活基盤の充実	政策の 目指す姿	生活に必要な基盤が整い、 快適に暮らしています	施策 主管課	都市政策課	施策主管 課長名	中村 健司
	施策No.	2	施策名	公共交通の確保	施策の 目指す姿	公共交通が利用しやすくなっ ています	関係課名			
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者数の減少により、民間バス路線廃止や減便が増加し、利便性の低下が進行しています。</li> <li>本市では、予約に応じて運行する予約応答型乗合交通や市街地循環バスを運行してきましたが、徐々にその利用しやすさが浸透し、他の地域からも運行の要望があります。</li> <li>花巻空港の利便性を高めるためには、利用者の増加が課題となっています。</li> </ul>								

## 1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取り組み実績

- (1)利便性の高い公共交通の確保
- 市営バス、市街地循環バス等の自主運行バスの運行
  - 交通広場等の適正な管理
    - ・花巻駅・新花巻駅・花巻空港駅・石鳥谷駅の駅前広場、駐車場、駐輪場等の管理
- (2)航空便の利用促進
- 航空便の増便に向けた関係機関への要望活動
  - 空港利用促進のためのPR強化
    - ・岩手県空港利用促進協議会等関係団体の活動への支援、協力

## 2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
公共バス(市運営、民間運営)の利便性に満足している市民の割合	市民の身近な公共交通であるバス(民間運営、市運営)の利便性満足度を示す指標	市民アンケート測定 「普段の生活の中で利用する下記項目の基盤整備状況に満足していますか？」④公共バス(民間路線バス、ふくろう号、デマンドタクシー等) (1)満足、(2)どちらかといえば満足、(3)どちらともいえない、(4)どちらかといえば不満、(5)不満 (1)、(2)選択数をカウントし、満足度を測定 ※分からない、無回答はバス利用者・利用希望者とみなさず分母に含めない	%	目標値				50.0	50.0	50.0
				実績値	—	48.1	33.3	46.5		
花巻空港年間利用者数	空港の利用状況を示す指標	乗降客数(県利用促進協議会資料)	人	目標値				404,000	404,000	404,000
				実績値	302,548	334,316	382,446	396,966		

## 3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>■公共バス(市運営、民間運営)の利便性に満足している市民の割合…【達成度b】市街地循環バスや石鳥谷・東和地域のデマンドタクシーは定着してきている。</li> <li>■花巻空港年間利用者数…【達成度b】空港の利用者数はここ数年増加を続けている。とくに名古屋便乗客の増加と、台湾定期便化に向けた動きがあることは、県や利用促進協議会とともに利用増進に取り組んできた成果と言える。</li> </ul>

#### 4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	
	事業内容(実績)		直結度	成果
1	空港利用促進事業	都市政策課	A	B
	岩手県空港利用促進協議会等の活動(利用促進、就航先都市でのPR)の支援、協力			
2-1	公共交通確保対策事業	都市政策課	A	B
	市営バス・大迫公共施設連絡バス運行委託、市街地循環バス・大迫花巻連絡バス・中部病院連絡バス・デマンドタクシー運行補助			
2-2	公共交通確保対策事業	都市政策課	A	B
	民間路線バス運行補助			
3	都市施設機能改善事業	都市政策課	B	-
	駅前広場・駐車場・駐輪場等の管理、放置自転車整理			

#### 5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)

- ・バス事業は、経費に比して利用者が少ない状況が続いている。

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

- ・新花巻駅前無料駐車場は、未舗装で敷地を十分には活用していない。放置車両もあり、本来の利用者の利用が妨げられている。

(新たに取り組むべき事業はないか)

- ・利便性の向上と利用者数の増加の両立を目指し、地域内路線バスのオンデマンド交通化を検討する。
- ・利便性向上のため、新花巻駅前無料駐車場を舗装整備し、より低廉な料金で利用できるよう改善する。

#### 6 施策の総合的な評価

(課題)

- ・バスやデマンドタクシーの利用者は増加しておらず、オンデマンド化の検討が必要。
- ・市街地循環バスは2車両運行を実施する方針であるが、バス事業者の運転手不足の深刻化により実現に至っていない。
- ・大阪と札幌便の利用者は前年度から減少、福岡便は利用率が50%程度と低迷している。

(今後の方向性)

- ・民間路線バスの廃止を見据えたオンデマンド交通の導入を検討する。
- ・市街地循環バスの充実に向け、引き続きバス事業者と調整する。
- ・空港は、県や利用促進協議会とともに引き続き就航先へのPR等を展開するほか、花巻空港の国際化の促進などに取り組む。